

聞いてきました！ まちの声

表紙によせて VOL.21

日常が“備え”になる暮らし方

おおたに はつみ
八女市防災士連絡会 大谷 初美 会長

災害はいつ、どこで起こるか分かりません。だからこそ、日頃の備えが命を守る第一歩になります。そのような中で地域の防災意識を高めようと、出前講座や講話を通じてわかりやすく伝え続けているのが大谷初美さんです。防災士になったきっかけから、日常でできる備えのヒントなどお話をうかがいました。



防災士としてどんな活動をされていますか？

市内の学校やサロン、地域の集まりなどで、出前講座や講話をしています。お話しする相手によって伝え方を変える工夫もしています。

防災士になったきっかけは何ですか？

消防団に入っていたとき、「資格として何か役立てたい」と防災士を知り、消防団活動にも活かせると思い受講を決めました。ただ当時は研修会場も少なく、毎月のように県内外の活動へ積極的に参加していました。

防災士の今の課題は何ですか？

登録者は多いですが、地域活動と兼任している方も多く、防災士としての資質向上と活動に出られる人を増やす体制づくりが課題です。

市民一人ひとりにできる“日常の防災”は何だと思いますか？

防災バッグのような備えも大切ですが、特別

なことではなく、普段持ち歩いているバッグを“持ち出し袋”と思って、保険証のコピーやタオル・ポケットティッシュをはじめ、水分を少し多めに入れておくことなど、まずは手軽なことから始めてみてください。難しく考えず、日常の中の一部だという意識が大切だと思います。

読者へのメッセージをお願いします。

防災は自分だけでなく周りの人のためにもなります。防災士に関心がある方は、八女市役所防災安全課まで、ぜひお問い合わせください。

※防災士とは？ 自助・共助・協働を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを、NPO 法人日本防災士機構が認証した人です。

議会だよりやめ令和7年5月1日号(No.188)のP22において、「次回定例会：5月27日(水)」とあるのは、「次回定例会：5月27日(火)」の誤りでした。お詫びして訂正します。

編集後記

終戦、被爆から80年を迎えました。

故山本達雄さんは、原爆が投下された広島から肉親の形見として星野村に「原爆の火」を持ち帰り、大切に守り続けました。その後、「平和を願う火」として、星野村が管理することになり、平和公園に平和の塔を建立、今年も8月6日に平和祈念式典が行われます。

「人間同士が殺し合う愚かなことは、もう止めにゃいかん」山本さんが語られた言葉です。

今なお世界では、戦火が絶えません。人類は、先の大戦で嫌というほど戦争の悲惨さ、愚かさを学んだはずなのに。「原爆の火」が灯る八女市から戦争も核兵器もない平和な世界を。あらためて平和について考えましょう。

古賀 邦彦

委 員	委 員	委 員	委 員	委 員	委 員	副 委 員 長	委 員 長	広 報 委 員 会	議 長	発 行 責 任 者
花 下 主 茂	坂 本 治 郎	久 間 寿 紀	原 田 英 雄	小 山 和 也	高 山 正 信	服 部 良 一	水 町 典 子	古 賀 邦 彦	橋 本 正 敏	

議会を傍聴しませんか？

次回定例会：9月1日(月) 予定

八女市役所本庁舎4階議場午前10時から
八女市議会事務局TEL: 23-4922
※日程は変更となることがあります。